

第658回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「報道特別番組 VOICE—あの日から10年—」

2021年3月17日(水)

(株) I B C 岩手放送

第658回IBC番組審議会

1. 開催日時 2021年3月17日(水)
2. 開催場所 書面開催
3. 委員の出席
- | | |
|---------|--------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 10名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷 志衣子 |
| 委員 | 郷右近 勤 高橋 司 |
| | 小松 務 藤野 静枝 |
| | 星 伸寿 新里 真士 |
| | 澤口 たまみ 龍澤 尚孝 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|----------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 眞下 卓也 | 常務取締役メディア放送本部長 |
| 黒澤 秀之 | 取締役営業本部長 |
| 若槻 修 | 報道局長 |
| 井坂 元 | 報道部ディレクター |
- 事務局
- | | |
|--------|-----------|
| 平澤 泰志 | 番組審議会事務局長 |
| 向井田 真衣 | 番組審議会事務局員 |
4. 議題 「報道特別番組 VOICE—あの日から10年—」
2021年3月11日(木)
午前10時25分～11時20分放送

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 「10年、一区切り、何？」というコメントは、10年たったことをイベント化している自分を反省させられた。全体を通して、暗すぎもせず、無理に未来志向に振ることもなく、非常に素晴らしい番組であったと感じた。

- 青い空と穏やかな海、そして、だだっ広い更地・空き地が目立つ市街地（茶色）のコントラストがくっきりと映し出され、思うようには進まない復興の現状が図らずも描かれていた。

- 視聴者からのメッセージについて、ラジオネームのような匿名ではいまひとつ真実性が伝わらない。

- 地元の放送局として、今後も震災に関する情報を放送し続けてほしい。

- アナウンサーがゲストのコメントを無理に意味づけせず、そのまま放送したことについて、よい印象を持った。一方で、番組全体のメッセージが理解しにくいと感じた。

- 「語り部を続けることは辛くないと言われるが、震災前の楽しいことを思い出すきっかけとなり、ありがたい」というコメントに対し、震災のことを話すことは被災者やその家族にとって辛いことだと思っていたが、このように思っている方もいるのだという気づきとなった。

- 陸前高田市を中心とした構成に対し、番組タイトルからはもっと幅広い地域で、被災者や関係者の皆さんの心の葛藤をくぐり抜けて生きてきたこの10年の思いが反映される番組のような印象を受ける。陸前高田の3つのエピソードに地域限定するならば、それが分かるサブタイトルが必要ではなかったか。